

なめがたをあるく



江戸時代、水戸藩に仕えた 大山守大場家住宅



大場家住宅 ●



主屋



大場家屋敷図 (明治時代)



表門



大場正二さん

大場家住宅は、平成元年に茨城県指定有形文化財に指定されましたが、近年老朽化が進んだため、解体修理工事が、平成16年から5年間の期間をかけて行われ、昨年9月に完了しました。同年11月の国民文化祭開催期間中の一般公開を皮切りに、現在は、日曜日（第4日曜日を除く）の午前中に公開されており、大場家第十七代目の当主である大場正二さんに、大場家住宅への熱意を語っていただきました。「同住

宅の敷地内に展示館を建設し、今年の秋ごろに一般公開します。展示館では、解体修理の状況を撮影したDVDの上映、調度品、掛け軸、水戸藩主の子息が宿泊した様子を書き記した古文書などを展示する予定です。大手映画会社の関係者からも問い合わせが寄せられており、撮影場所として提供することにより、行方市を売り出したい。多くの子どもたちに来ていただき、伝統文化を伝えていきたい。市として、誇りになれるような施設にしていきたい。」

今後の管理運営方針は、市教育委員会と協議しながら決定するとのこと。貴重な文化遺産を後世に伝えるためにも、よりよい方向になることを期待します。

ROOKIE

市内で頑張るフレッシュな人を紹介していきます！

高須一弥さん
(麻生幼稚園教諭)

行方市初の男性教諭ということで、子どもたちにさまざまな影響を与えていけたら良いと思っています。また、これからの幼児教育には、男性も必要であるということに皆様に伝えられるように務めていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。



編集後記

今年度から、市報編集の担当になりました。市内のいたるところにお邪魔をし、皆さまのご活躍を紹介してまいります。(保)

5月号から表紙も中身もリニューアル！市民の皆さんにわかりやすく情報を伝え、興味を持ってもらえるような市報を作りたいと思います。ご意見・ご要望お待ちしております。(友)